



地域を育み 大陸をつなぐ

国際ロータリー第2660地区

吹田西ロータリークラブ ウィークリー 2010-2011

■創立 1980.6.12

事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 江坂東急ビル1F

☎(06)6338-0832 FAX(06)6338-0020

URL <http://www.suita-west-rc.org>

例会場 新大阪江坂東急イン

☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06)6338-0109

例会日 毎月曜日 18:00~19:00

役員 会長：村井正雄 幹事：渋谷清明 会報委員長：佐藤洋一

4つのテスト ●真実かどうか ●みんなに公平か ●好意と友情を深めるか ●みんなのためになるかどうか

第1401回例会 平成23年1月31日

卓話「日本むかし話」 鈴木パスト会長
今週の歌「限りなき道ロータリー」

先週内容

会長挨拶 村井会長



地区ガバナーから上半期を終えるにあたって、テーマの“ロータリークラブについてもう一度考えてみませんか”について、各クラブで検討し、改革、再考、新しい取組を、原点に戻って考えて下さいとの要望が有り、又、クラブ単位で継続的なロータリアンとしての人づくりの為に、会員の研修委員会の設置の奨

ロータリー理解推進月間

次週 第1402回 例会予告 平成23年2月7日

卓話 「ひとり言」 榎谷パスト会長
Weekly No. 1401は佐藤委員長が担当しました。
Weekly No. 1402は伊藤副委員長が担当の予定です。
(本日の原稿をお渡し下さい)

励が有りましたが、プログラム委員長が現在お願いしていますパスト会長の卓話（先週は瀧川パスト会長の吹田西RCの生い立ちや、今日の宮川パスト会長の卓話等）によって、新入会員、及び中堅会員に、ロータリークラブの本質が何かを考える機会を与えていただいていると思いますので、これを研修委員会として考えてもらえればタイムリーな卓話になると思います。

ロータリーの奉仕の原点について、吹田西RCの中だけの限られた予算で考えるのではなく、各委員会で何が出来るかを考えていただきたいと思います。

TVでもアンケートで、奉仕をしたい人は潜在的にたくさんおられるが、どうしたら良いか分からない方が多いとの事。“タイガーマスク運動”の様な小さな事でも皆で考えれば大きな力になると思います。

今日の一句

俳句同好会
小林会員 (山牛)



平成23年1月31日

夢の世に葱を作りて寂しさよ

永田耕衣

・ロータリー財団より島田会員に対し、「ポール・ハリス・フェロー」の認定状とバッジが届いております。



ゲスト

榎原委員

ゲスト入会 西村 元秀 様

出席報告

高木委員長

- 会員数 48名 ● 来客 1名
- 出席会員数 40名 ● 本日の出席率 88.89%
- 12月13日の出席率(メーキャップを含む) 100%

2660地区国際奉仕・世界社会奉仕(WCS)委員会

地区委員 小林会員

RIは昨年11月の理事会にて、世界社会奉仕プログラムを今年度で終了する旨を決定しました。

新モデルの具体的発表は3月中に予定されていますので、当地区国際奉仕委員会もRIの発表を待って、新たな名称と方針を決定することになります。従って、来年度は各クラブに於ける「世界社会奉仕委員会」が無くなることとなりますので、来年度理事会はご留意願います。

ロータリー財団委員会

榎原委員

2011年2月のロータリーレートは、1ドル=84円と本部より連絡がありましたのでお知らせ致します。

- ◆榎谷会員
新年おめでとうございます。正月の間、色々なことがありました
- ◆田中(孝)会員
前回欠席のおわび。本年もよろしくお願ひします。
- ◆宮川会員
福島千里選手の育成に対して、北海道高橋知事より感謝状を頂きました。
- ◆宮川会員
本日の大切なテーマにも拘らず、未熟な卓話でお耳を汚すことをお許し下さい。

本日のニコニコ箱	12,000円
累計のニコニコ箱	594,336円

本日の1コインニコニコ箱	300円
累計の1コインニコニコ箱	27,066円

卓話

「ロータリー理解推進月間に寄せて
・・・“月間のテーマに沿って”」

宮川パスト会長



「ロータリー理解推進月間」にちなみまして、ご指名を頂きましたので。僭越ですが月間のお役目を勤めさせて頂きます。ロータリークラブに関しての話を、「月間のテーマ」に沿ってさせて頂きます。月間のテーマの起源を理解頂くことで積極的なお取り組みの多少なりとも参考にして頂ければ幸いです。

ロータリークラブはご承知のように1905年2月23日に米国シカゴで誕生しました。その後、1923年に採択された「決議23-34」即ち、ロータリーは、基本問題として、自己の為に利益を得ようとする欲望と、他人に奉仕をしようとする義務感と、それに伴う葛藤を和解させようとする哲学、即ち「超我の奉仕」を採択したときにロータリーは成人式を迎えたと言われています。

そこで、「月間のテーマ」に沿ってお話をさせていただきますが、

○7月は、「識字率向上月間」です。

教育制度の充実した日本に於いては馴染みの薄いテーマですが、地球規模で見ますと、1%の人が大学教育を受け、35%の人が文字を読めないと言うデータが有るそうです。大切な取り組みであることが分かります。

○8月は、「会員増強月間」及び「拡大月間」です。

会員増強が如何に大切かは、年度早期の月間テーマであることで分かります。

- 1、会員の自然減の補填をする
- 2、奉仕活動推進の財源の安定を図る
- 3、クラブ活性化の為に若返りを図る
- 4、奉仕活動プロジェクトの規模の拡大を図る
- 5、地域活動の職業を限りなく網羅し、多くのことを学ぶ機会を造る

RI会長の毎年度の最重点課題であり、クラブに取りましても重要な課題です。

「拡大月間」は、新しいクラブの設立を推進する運動です。

○9月は、「新世代のための月間」です。

新世代のプログラムは30歳までの若者の養成を目的としています。

プログラムには、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、他に、ロータリー青少年指導者養成プログラム、青少年交換、新世代交換などのプログラムがあります。

身近に適任な若者が居られます場合には、是非吹田ローターアクトクラブにご推薦下さい。

○10月は、「米山記念月間」及び「職業奉仕月間」です。

「米山記念月間」は、日本独自の奨学金制度ですが、昭和20年に日本で最初に東京ロータリークラブを創設された米山梅吉氏の功績を記念して、米山基金（ファンド）が設立され、当初は東京ロータリークラブが実施され、1967年に基本金3,000万円（財）米山記念奨学会として発足し現在に至っている。1977年にRIとしてオフィシャルな制度に発展し、1989年から、以前、ロータリークラブの在った国からの留学生にも支給されることになり現在は中国からの留学生にも支給が可能になっている。

本年度は、ご承知の通り、スリランカからボーゴダ・インディカ・ウダヤ・クマール様を受け入れております。

「職業奉仕月間」は、ロータリー活動の基本は職業奉仕であり、職業と言う領域にこそ、ロータリーの奉仕の本質が有り、他の奉仕活動と一線を画す根拠であるようです。

ポール・ハリス他が考えた職業奉仕に対する原点、Serviceと言う単語の解釈、即ち、

- ・職業の道徳的水準を高めること
- ・あらゆる有用な職業は尊重されるべきであること
- ・職業を通じて社会に奉仕する為にその業務を品位あらしめること

今、この厳しい時代故に、ロータリアンが改めて「I Serve」の理解と実行が求められるように思います。

○11月は、「ロータリー財団月間」です。

「ロータリー財団」は、1917年に当時ロータリークラブ国際連合会会長アーチ・クラング氏が提案され、1917年、米国ミズリー州キャンサスシティー・ロータリークラブが寄付した26ドル50セント（約2,200円）が最初で現在に至っているようです。現在は1人当たり当時の約5倍に当たる130ドルの寄付をお願いしております。ご協力を宜しくお願いします。

ロータリー財団への寄付金は、3年間投資に廻され、3年後に50%が地区で使える地区財団活動資金（DDF）、50%が世界中のロータリアンが補助金として使える国際財団活動資金（WF）です。地区財団活動資金

の用途は、教育的分野、人道的分野、寄贈分野で、配分は地区が年度ごとに決めるようです。

○12月は、「家族月間」です

実は、2003～4年度RI会長のジョナサン B マジョアベ会長の提案でより新規に「家族月間」と決まったようです。

また、12月は、ロータリー定款第5条2節に重要な「年次総会」を12月31日までに開催しなければなりません。当クラブのクラブ細則第4条1節に年次総会は12月の第2例会時に開催することになっています。

○1月は、「ロータリー理解推進月間」です。

「ロータリー理解推進月間」は、奉仕の質の高揚を図る為に、毎年、年の初めに会員各位にロータリーについての理解を一層深めて頂き、同時に一般市民にもロータリーのことを広く知って頂く月間として、1988年1月より実施されております。

また、1月には1947年1月27日に他界されたポール・ハリスの命日を含む1週間を「追悼記念週間」に指定されています。また、各クラブが物故会員様のご功績を偲び、ご冥福をお祈りする素晴らしいプログラムです。

○2月は、「世界理解月間」です。

「世界理解月間」は、1921年に最初の国際大会がスコットランドのエジンバラで開催され、以来、国際親善と平和を目標とする国際奉仕活動がロータリーの4大奉仕部門に組み込まれ、この2月を国際間の活動を実践する動機づくりの為に設けられた。そこで、2月は、世界社会奉仕（WCS）を中心にしたプログラムを行うように要請されています。現在、当クラブとしては、タイ国ナコンパナムRCへの協力を行っており、2月には、WCSに関してのご報告の機会を持たれることと存じます。

実は、ロータリークラブの国際的な活動

としては、国連の創立当初より関係が深く、2003年には、国連経済社会理事会でトップ・コンサルタントとして承認されたようです。今日ロータリーは、国際的な活動として、国連経済社会理事会以外にもユニセフ、ユネスコ、WHOに於いてコンサルタントの地位を保持しているようです。ロータリーの国際的な役割の影響力を改めて理解を深めて頂ければ幸いです。

2月23日はシカゴに誕生した記念すべきロータリーの創立記念日です。

○3月は、月間のテーマはございません。

ただ、13日を挟む1週間は、「ローターアクト週間」です。

○4月は、「雑誌月間」です。

「雑誌月間」は、機関雑誌と致しまして、RIの公式雑誌は基本版が英語の「THE ROTARIAN」で、日本語始め理事会が認めた数だけの言語版が出版されています。1977年にクラブ定款10条（現在は12条）の改正で公式地域雑誌の規定が設けられ1980年7月から「ロータリーの友」を含め23誌が認められたようです。

○5月は、月間のテーマはございません。

週間事業もありません。

○6月は、「親睦活動月間」です。

「親睦活動月間」は、積極的に親睦活動を企画し、より一層親睦を深め次年度に引き継いで頂くのが6月の親睦活動月間の目的です。

ロータリークラブは会員の役職、担当が基本的に1年単位であることはロータリーの運営を各会員が広く理解を深めるための素晴らしいプログラムです。また、全会員が役員または、何らかの委員会に所属し、直接運営に拘わるのもロータリーの特徴です。

Weekly No. 1398号会報のミスプリントによる一部訂正です。
次年度会計監事候補者 毛利征一郎会員の箇所は正しくは仲辻章会員です。

13:30 ~